

事例概要

氏名：南 美智子（10歳女）

障がい：知的障がい 療育手帳A

家族構成：母（46歳）平日は食品加工会社でパート。毎日、家事等忙しい日々を送る。
姉（22歳別居）府内B市にて夫の両親と同居、義父が病弱で入退院を繰り返している。
保育園に通う子どもが居り、何かと忙しい身であるが、本人や母のことを気にかけている。
兄（16歳）高校生、部活、アルバイトで忙しい状況で、本人には気にかかる半面、厳しい対応をしてしまう。
父：5年前、本人が5歳時に、工作中的の事故で死亡。

学校では国語や算数は支援学級にて受け、音楽や体育は原学級で受ける。友達に限られた数人といつもおしゃべりしていたが、物事を取り決めする学級会などでは、自分の思いを話すことができなかった。
音楽が大好きで、演奏会で太鼓を担当し、毎日の練習の成果を発揮し、自信を得る。また、友達関係がひろがりつつある。

本人は、日常生活（ADL）がほぼ自立しており、込み入ったことでないならなんとか理解でき、会話も可能であるが、物事の判断力や通常とは違うことに対する対応や困った時には人に聞くなど問題解決する力は乏しく、自分がやりたいと思うことをはっきりと示すことができない状態。

母は、5年前に父が亡くなってから以降、仕事をしながら懸命に子育てしている。数年前から動脈硬化を指摘されていたが、受診する時間も無く、多忙な日々を送っている。

地域の相談員からいろいろな福祉サービスについて聞き、そのことがきっかけで福祉事務所に詳しく聞きに行くこととなる。

相談支援事業と放課後等デイサービスについての説明を聞く。

後日、相談支援事業所に行き契約をおこなう。同時に近所にある放課後等デイサービスへも見学に行く。